

(1) 「心配ごと等に関するアンケート」の集計結果について

1 事業概要

相談業務の充実を目的として、就学援助認定者と児童扶養手当申請者に対して「心配ごと等に関するアンケート」を配付し、具体的な心配ごと等をお聞きするとともに、その早期対応を図る。

対象	時期	内容
就学援助認定者	7月中旬	学校経由でアンケートを配付（回答は返信用封筒またはWeb）
	7月～	<ul style="list-style-type: none"> 提出されたアンケートに市への相談希望があった場合、子育て応援課から担当課へ連絡し相談内容を周知 担当課において対応後、子育て応援課へ対応記録表を提出
児童扶養手当申請者	7月31日	現況届に同封しアンケートを送付（回答は持参またはWeb）
	8月～	<ul style="list-style-type: none"> 提出されたアンケートに市への相談希望があった場合、子育て応援課から担当課へ連絡し相談内容を周知 担当課において対応後、子育て応援課へ対応記録表を提出

(1) 「心配ごと等に関するアンケート」の集計結果について

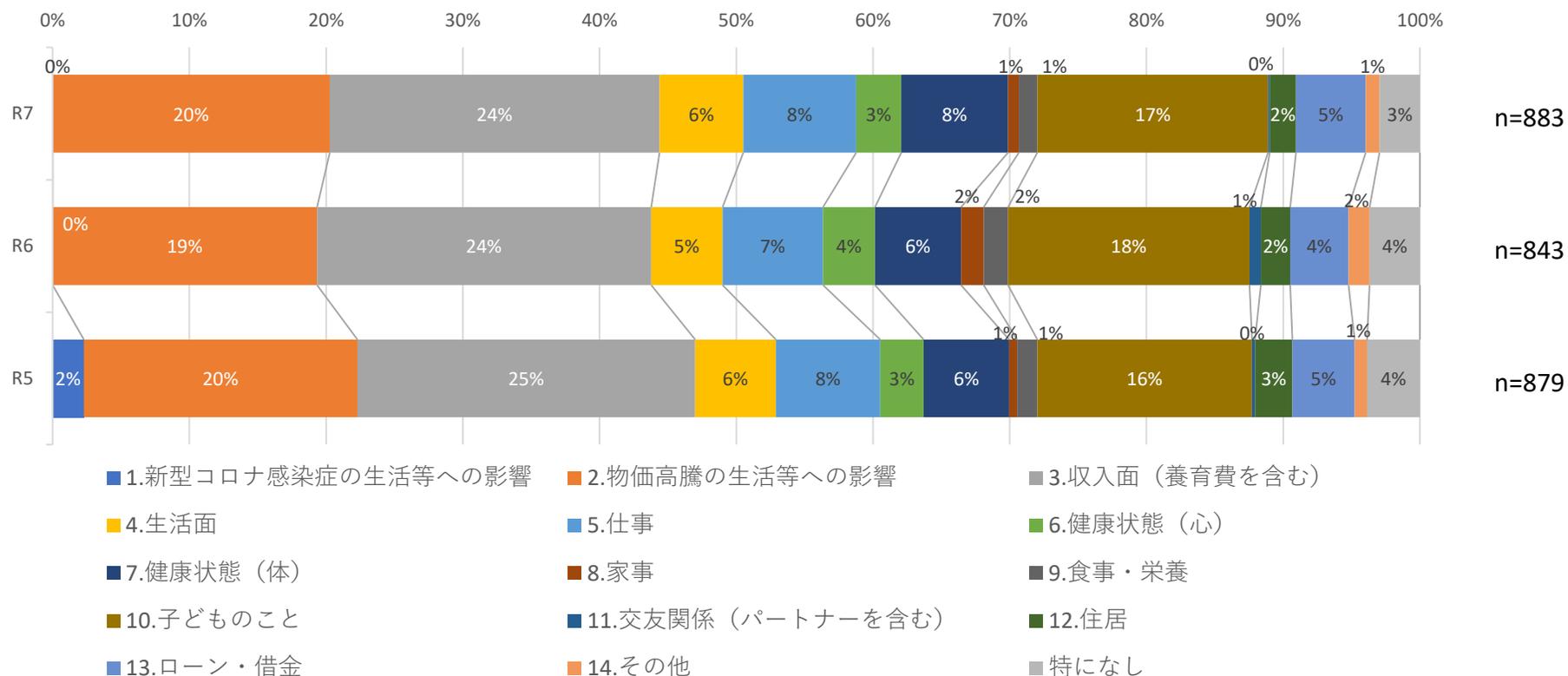
2 アンケート回収結果

(1) 回収率について

対象者	送付数 (件)	回収数 (件)	回収率 (%)	回答方法内訳 (%)					
				窓口	郵送	Web	その他	その他	その他
就学援助 認定者	248 (257)	56 (61)	22.6 (23.7) -1.1%	0.0% (0.0)	41.0% (50.8)	59.0% (49.2)			
児童扶養手当 申請者	534 (566)	264 (247)	49.4 (43.6) 5.8%	78.4% (76.9)	0.0% (0.0)	21.6% (23.1)			
合計	782 (823)	320 (308)	40.9 (37.4) 3.5%	64.7% (61.7)	7.2% (10.1)	28.2% (28.2)			

※ () 内はR6年度

(2) あなた自身のことで「心配していること」の多かった内容



★★昨年度との比較★★

(1位)

R7 ・収入面 (24%)

(2位)

・物価高騰の生活への影響 (20%)

(3位)

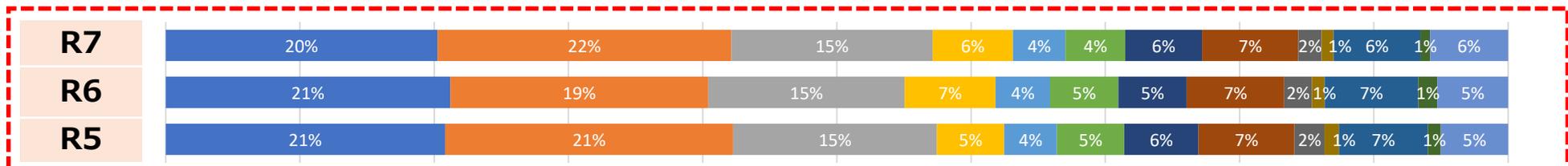
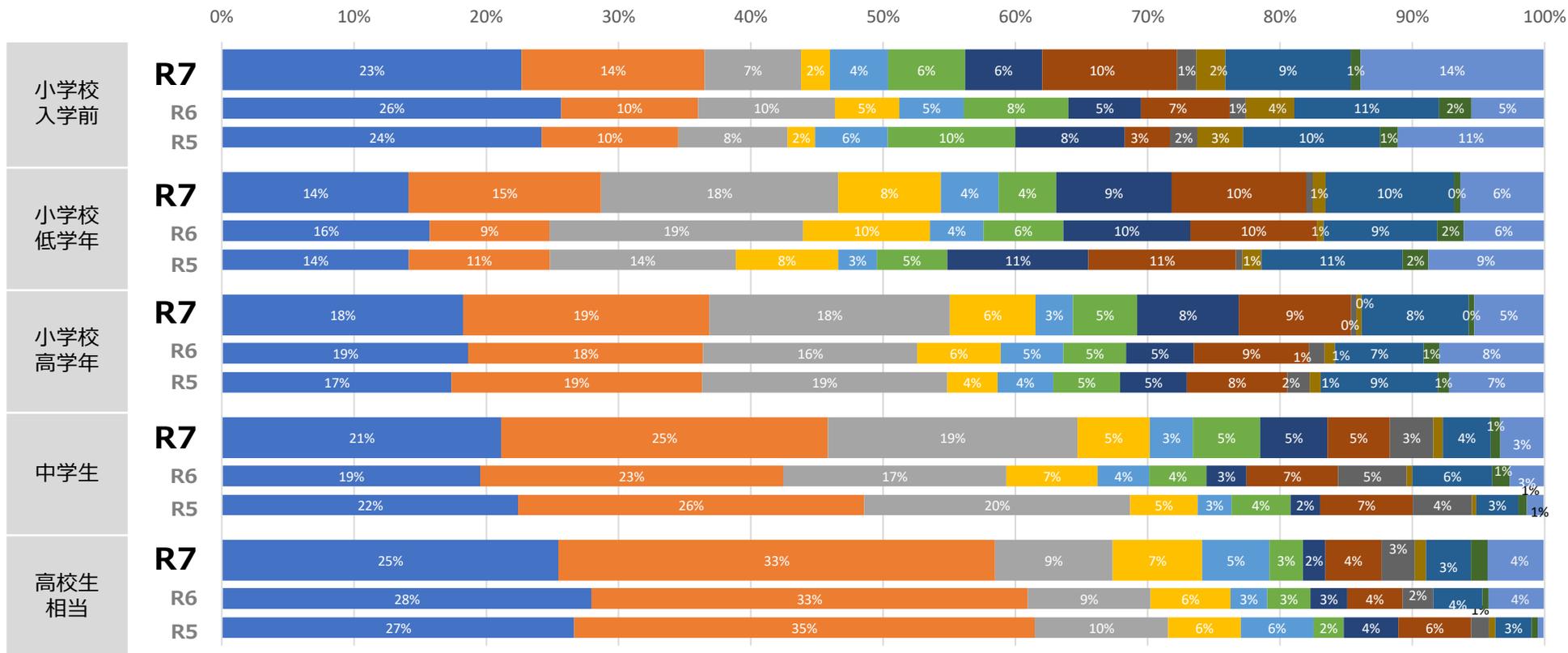
・子どものこと (17%)

R6 ・収入面 (24%)

・物価高騰の生活への影響 (19%)

・子どものこと (18%)

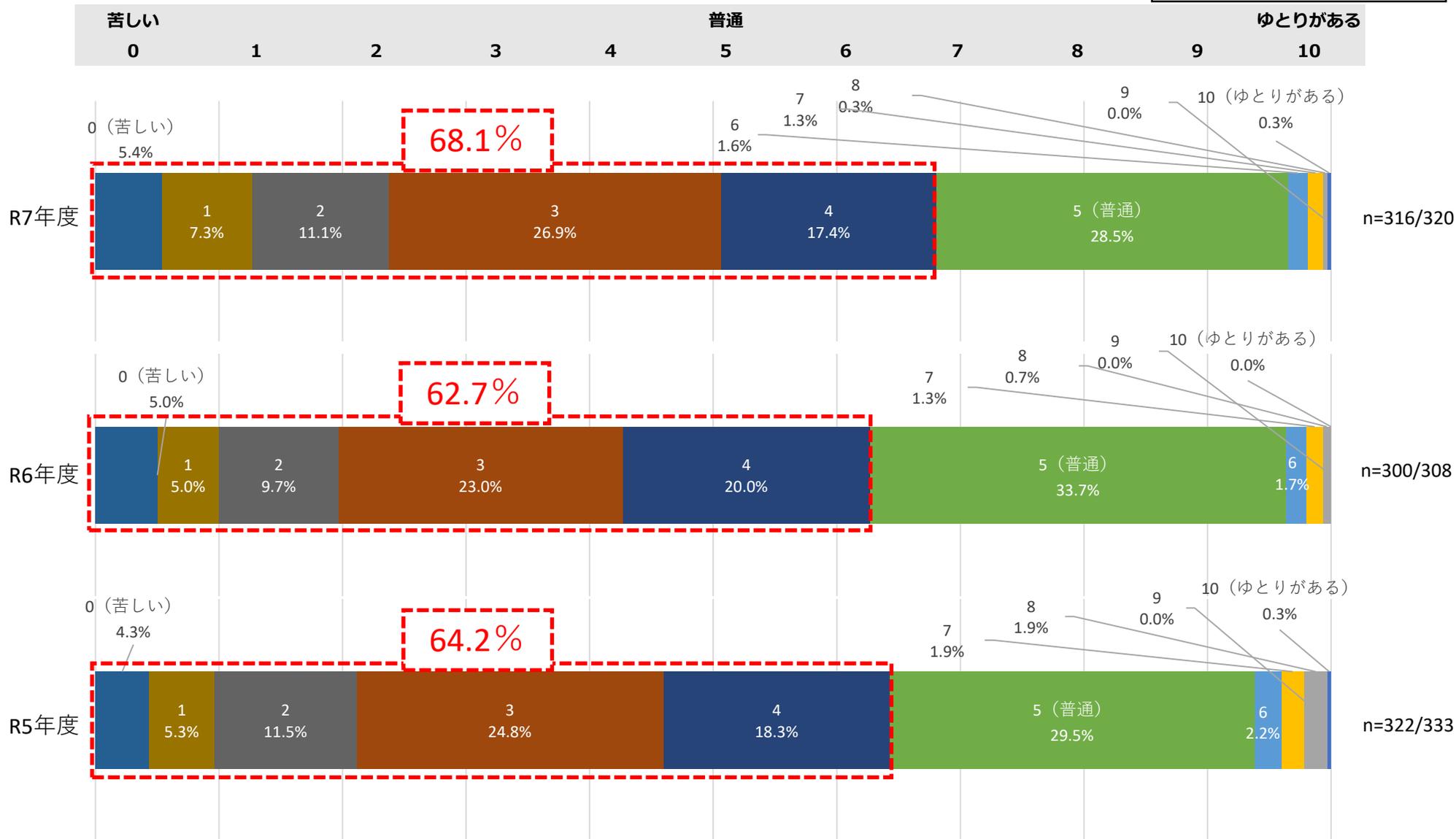
(3) お子さんのことで「心配していること」の多かった内容



■ 教育費
 ■ 進路・将来
 ■ 学力
 ■ 健康状態(心)
 ■ 健康状態(体)
 ■ 食事・栄養
 ■ 生活態度
■ 友人関係
 ■ 不登校・引きこもり
 ■ 問題行動
 ■ 心や体の発達
 ■ その他
■ 特になし

→ **教育費、進路・将来、学力に関する心配ごとが高い割合で推移。**

(4) あなたの現在の暮らしぶりについて、当てはまる数字を選択してください。



10段階評価の中、「5」の普通「未満」が占める割合が増加 (R6:62.7%→R7:68.1%)

(5) アンケート結果からみえる傾向と対策について

傾向	対策
<p>【自身の心配ごと】</p> <p>「収入」・「物価高騰による生活等への影響」・「仕事」に関する心配が高い割合で横ばいとなっている。 また、暮らしぶりについても「普通未満」が占める割合が高い割合となっている。</p>	<p>物価高騰などにより生活に心配を抱える子育て世帯への経済的支援</p>  <p>支援策を検討</p>
<p>【子どもに関する心配ごと】</p> <p>こどもの「教育費」、「進路・将来」、「学力」に関する心配が高い割合で横ばいになっている。</p>	<p>心配ごと等に関するアンケート及び、相談支援の継続</p>  <p>アンケートに記載された内容に個別対応</p>

(6) 相談希望及び記載内容について

区分	件数	記載内容等		
「弁護士」相談を検討	2件 オンラインで2件あり	<ul style="list-style-type: none"> 養育費未払いについて→無料弁護士相談会を検討する 高校卒業後の進路、学費、養育費について→無料弁護士相談会を検討する 		
「燕市」へ相談希望	8件 (児扶8件)	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>〈相談内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> こどもの将来・マイホームのローンの支払い（1件） こどもの身体的な悩み（1件） 公営住宅の入居について（1件） こどもの不登校、学力低下、進学について（1件） こどもの子育てについて（1件） 生活費の心配（1件） 地域移行クラブ、高校進学、就学援助について（1件） こどもの発達障がいについて（1件） </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 20px;"> <p>〈対応機関〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て応援課 よりそいホットライン 営繕建築課 学校教育課 子育て応援課 子育て応援課 学校教育課 子育て応援課 </td> </tr> </table>	<p>〈相談内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> こどもの将来・マイホームのローンの支払い（1件） こどもの身体的な悩み（1件） 公営住宅の入居について（1件） こどもの不登校、学力低下、進学について（1件） こどもの子育てについて（1件） 生活費の心配（1件） 地域移行クラブ、高校進学、就学援助について（1件） こどもの発達障がいについて（1件） 	<p>〈対応機関〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て応援課 よりそいホットライン 営繕建築課 学校教育課 子育て応援課 子育て応援課 学校教育課 子育て応援課
<p>〈相談内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> こどもの将来・マイホームのローンの支払い（1件） こどもの身体的な悩み（1件） 公営住宅の入居について（1件） こどもの不登校、学力低下、進学について（1件） こどもの子育てについて（1件） 生活費の心配（1件） 地域移行クラブ、高校進学、就学援助について（1件） こどもの発達障がいについて（1件） 	<p>〈対応機関〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て応援課 よりそいホットライン 営繕建築課 学校教育課 子育て応援課 子育て応援課 学校教育課 子育て応援課 			
相談希望はなし 心配ごと等を記載	153件 (児扶117件) (就学援助36件)	<p>〈自分のこと〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分（母）何の資格もないのでこのまま給与があがらない。いつか仕事がなくなったらと思うと不安になる。 <p>〈子どものこと〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の収入でこどもを塾に行かせたり、様々な経験をさせてあげられない。 こどもが進学を希望しているが、学費を賄えるか心配。 <p>〈元配偶者のこと〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 離婚した元配偶者が、こどもの養育費を一切払わないこと。 		

(2) こども食堂運営団体との意見交換会の報告について

1 開催概要

開催日時	令和7年8月26日(火) 午後3時30分～4時30分			
出席団体	白山町みんなの食堂	: 1名	地域食堂ふらっと	: 2名
	分水きずな食堂	: 1名	川前おいしい広場	: 1名
				計5名

2 意見交換内容

(1) 市に対する意見・要望

意見・要望

- 補助金の継続を希望。
- 補助金額の増額の要望なし。
- スタッフなど人的支援等の要望なし

※このほか、それぞれの団体の運営状況や開催方法について団体同士で活発な意見交換が行われました。

(2) 現在の活動状況について

食堂名	活動状況
つばめこども食堂 ・地域食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベースになる定期的なこども食堂の活動だけでなく、ニーズに合わせて少し変化を持たせてやっていきたい。 ・ 燕市と委託契約を締結し、9月よりこどもの生活・学習支援事業を開始した。 ・ こどもの生活・学習支援事業では大学生ボランティアが中学生の質問に個別対応している。また、放課後開催のため、食の支援（軽食）を行っている。
白山町みんなの 食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月1回、約70食を作り会食か弁当を選べるようにしている。 ・ 会食を再開し、こども、保護者、地域住民、ボランティアも同じ食事を取りながら交流を行った。 ・ 高齢者世帯へボランティア（大人・こども）が弁当を配達している。 ・ 食材は毎月地域の方から寄附があり、地域とのつながりがしっかりしている。
おたがいさま食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月1回、約80食のお弁当を提供。、公式LINEでの申込制としている。 ・ 対象は、児童扶養手当受給世帯（ひとり親家庭）と生活困窮者のみを対象とした。 ・ 食材は、一緒にやっているフードバンクの食材や、新潟県フードバンク連絡協議会からもらって何とかなっている状況。 ・ 毎週土曜日、ひとり親家庭向けにZOOMで相談事業を行っている。
みなみくーちゃん 食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月1回、約30食の弁当を提供。 ・ ひとり親家庭や子育てに不安を抱えている家庭も多く利用されているので、支援になればという思いで活動している。 ・ 会食ではなくお弁当のニーズが高いと感じている。

(2) 現在の活動状況について

食堂名	活動状況
フードバンクつばめ こども食堂	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの居場所（つばめベース）を週5日開設。 • こども食堂を、夏休み期間は平日毎日開催。10月からは毎週土曜日開催。 • ボランティアスタッフを募集しながら開催している。 • 燕市と委託契約を締結し、こどもの生活・学習支援事業を開始した。 対象：生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯（ひとり親家庭）。 • こどもの生活・学習支援事業では現役高専生、教員OBボランティアが中学生の質問に個別対応している。
分水きずな食堂	<ul style="list-style-type: none"> • 月1回第3金曜日開催 • 8月（夏休み中に3回開催）30～40人参加。 • スタッフは毎回15名程度（分水高校ボランティア部約10人参加） • こどもだけの利用もあり。
地域食堂ふらっと	<ul style="list-style-type: none"> • 月1回最終週の日曜日開催（第1部11:30）（第2部12:30）を実施。 • 毎月1回、約38食の食事を提供。 • 法人職員6人、ボランティア4人で調理・配膳・レクリエーション。 • 利用者のこどもの割合は3割程度。

(2) 現在の活動状況について

食堂名	活動状況
SAKURAぶんすい	<ul style="list-style-type: none"> • R7.5に新規開設。 • 月1回第一土曜日11:30～開催。 • 約40食の弁当を提供。（分水地区の店を利用） • ボランティア7名、現役大学生1名、教員1名が参加し、宿題をみることもある。 • 3家族が参加。乳幼児から小学生のこどもが10人程度。
吉田えん食堂	<ul style="list-style-type: none"> • R7.7に新規開設。 • 毎月1回、約50食程度のお弁当を提供。 • スタッフは毎回8名程度。 • 利用者はこどもの割合が多く、中学生が友達同士で来ることもある。 • 地域の方や社協からお米や野菜の寄附があり、利用者へ配布している。
川前おいしい広場	<ul style="list-style-type: none"> • R7.10に新規開設。 • 毎月1回、約50食程度の食事を提供。会食のみ。 • 10月は利用者が少なかったが、11月からは満席になることもあり、周知が図られている。（LINE・Instagram活用） • 地域の方からの寄附や、政府備蓄米を検討するなど、活発に活動している。 • ボランティア10名（地域の方、代表が経営するカフェの支援者など）